

「宇都宮市生物多様性地域計画」の改定について

1 改定の目的

本市においては、平成28年3月に宇都宮市生物多様性地域計画である「うつのみや生きものつながりプラン」（以下「プラン」という。）を策定し、市民団体等と連携した自然ふれあい活動や人材育成講座など多様な取組により、総合的に各種施策事業を推進してきたところであるが、特定外来生物を含めた外来種の移入や、豪雨頻度や降水量の増加、平均気温の上昇など、本市を取り巻く自然環境は年々変化していることから、これらの事象を的確に捉えるとともに、SDGsをはじめとする社会の潮流や本市のまちづくりの考え方を踏まえ、具体的かつ総合的に推進するプランの改定を行うもの

2 計画の位置づけ

- ・ 生物多様性基本法第13条に基づく計画
- ・ 「第6次宇都宮市総合計画」の基本施策「環境への負荷を低減する」を実現するための、「宇都宮市環境基本計画」のうち、生物多様性の保全に関する取組を推進するための基本方針や施策を示すもの
- ・ 本計画の取組指標等を着実に推進し、生物多様性保全に関する意識の醸成や生きものとその生息・生育環境の保全を推進することで、SDGsのゴール「15 陸の豊かさを守ろう」の達成に貢献するもの

3 計画期間

平成28年度～令和7年度までの10年

（※今回の改定は、10か年計画における後期5か年にあたるもの）

4 検討内容

現行プランの分析・評価を踏まえ、以下の観点を整理し、生物多様性の保全に係る基本施策及び事業、重点事業、取組指標の改定を行う。

- ・ 生物多様性における更なる意識の醸成に関する施策の検討
- ・ 本市の地域特性を踏まえた生きものの生息・生育環境の保全策の検討
- ・ 外来種の移入に備えた更なる効果的な外来種対策の検討
- ・ 生物多様性の保全における気候変動への緩和・適応策の検討 など

5 策定体制 ※別紙3のとおり

関係課長で構成する委員会、関係課担当者で構成する作業部会からなる「うつのみや生きものつながりプラン推進委員会」を設置し、改定作業を進める。

6 今後のスケジュール

令和2年	5月	宇都宮市環境審議会（目的，検討内容，策定体制の報告） 策定業務開始（業務委託の契約締結）
	10月	後期プラン素案の作成
	11月	宇都宮市環境審議会（素案の報告）
	12月	パブリックコメントの実施
令和3年	2月	宇都宮市環境審議会（パブリックコメントの結果についての報告）
	3月	後期プラン策定，公表